



国際観光都市

デジタルによる情報共有と民主化①

国際社会経済研究所 (NECグループ) 主任研究員



松永 統行

クルーズ客船で地中海を北上し、バルカン半島とイタリア半島に挟まれたアドリア海に入ると、多くの世界遺産を抱えるクロアチアのドブロブニクとイタリアのベネチアの二つの国際観光都市にたどり着く。多くの観光客が訪れるこのような国際観光都市に、地元で働く人や次世代のための利他的な活動が情報

空間の中に生まれてい

デジタルによる情報共有と民主化①

制限し、ベネチアは運河への入港の禁止を方針として打ち出した。地域住民の生活や文化遺産の保護に対して受忍の限度を超えるオー

地元住民が減少

一方で、このような強い観光資源のある世界遺産の都市の中でも、高齢化が進んでおり、若年層を含め、旧市街地からの流出が続いている。地元住民が減り、外資の旅行業者やホテル業者の経済活動が広

プロセス変え 困り事解決

■従来の情報化プロセス



■SNS時代に生まれた情報化プロセス



的な機構の構築が始まる。誰もが参画できるタイミングに合わせ、若い世代と一体となった試行錯誤が情報空間の中で展開されている。

スマホで共有

欧州の主要陸路を海からつなぐベネチア港には、大型の貨物船と小舟が行き交う。港湾局はこの陸路網と大型船の管理がミッションだが、小舟のために、船舶の位置や天候など、港湾の状況に関連するあらゆるオープンデータを重ね、スマホで共有できるアプリを提供した。小舟が自船の位置のアップもでき

市民が共益的な活動が地域を持続させるエネルギーを生み出している。

(金曜日に掲載)